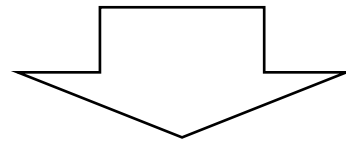


# 2020年度化学工学会 インターンシップ報告会

研修先：JNC株式会社

鹿児島大学大学院 理工学研究科 工学専攻 化学工学プログラム  
修士一年 西尾憲悟

- 企業で働くとは？
- 大学と企業のちがい・共通点とは？
- 化学工学の役割とは？



企業で働くイメージをつかみたいという思いから  
インターンシップに参加

# 研修概要

実習場所:市原製造所 生産技術室

実習期間:2020年10月5日～16日

10/5(月)	10/6(火)	10/7(水)	10/8(木)	10/9(金)
ガイダンス 工場見学	実験・データ整理			
10/12(月)	10/13(火)	10/14(水)	10/15(木)	10/16(金)
実験・データ整理・資料作成				成果報告

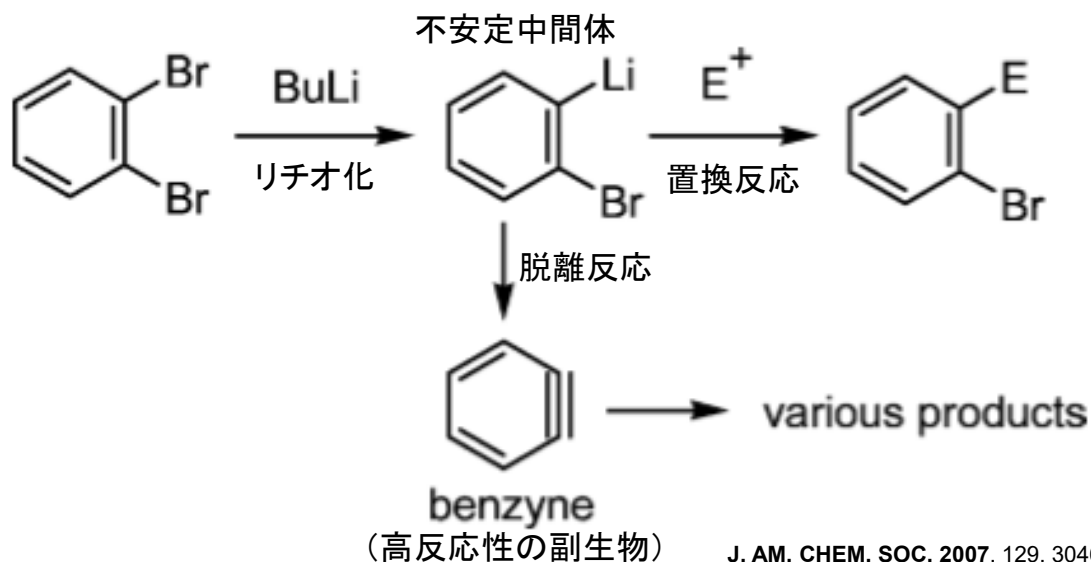
土・日は休み

社員の方々と同じスケジュールでの研修

## 研修テーマ

### マイクロフローリアクターでのリチオ化 NBL前処理法についての検討

置換基を有する芳香族臭素化合物の製造例(ortho-ジブロモベンゼン修飾)

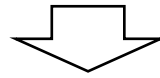


バッチ反応器では制御困難

⇒ マイクロフローリアクター(MFR)を用いた反応制御が有効

## 従来法

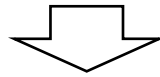
MFRで混合させた際、反応初期に温度が急上昇



品質に大きく影響、製造能力の低下

## NBL前処理法

温度上昇の原因である材料をあらかじめ混合させる



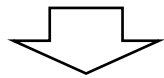
品質に影響ない工程へ発熱をシフト、生産能力の向上

## 検討内容

NBL前処理法について優位性の確認

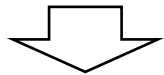
実験

従来法、前処理法で合成



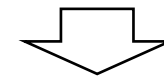
分析・評価

収率、MFR内での温度変化



考察

社員の方とコミュニケーションを  
取りながら検討を行った



密度の高い研修を行えた

# インターンシップを通して学んだこと

- 化学会社の生産技術職で働く経験
- 組織内での人との関わり合い
- 自身が大学で学んできた化学工学という学問がどのように仕事で活かされているのか
- 決められた時間内に業務を終わらせなければならない大変さ
- 普段使用しない機器の使用方法や原理

インターンシップに参加することで

- ・働く環境や雰囲気を実際に感じることができる
- ・働く具体的なイメージをつかむことができる
- ・化学工学の知識が社会でどのように役立っているかを知ることができる
- ・就職活動の方向性を決定するための貴重な経験ができる

**インターンシップへの参加をお勧めします**



今回インターンシップという貴重な機会をくださった  
JNC株式会社 様

お忙しい中、丁寧にご指導していただきました  
市原製造所 生産技術室の皆様

この場をお借りして深くお礼申し上げます。  
本当にありがとうございました。